

2004年度
講義計画

桃山学院大学

講 義 計 画

東京100%

講義計画

東京100%

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅳ (在日韓国・朝鮮人問題)	01 02	春学期 秋学期	2単位 2単位	金 秀吉
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>現在、約60万人の韓国・朝鮮人が日本に定住している。この定住者を一般的に「在日韓国・朝鮮人」と称している。時には略して「在日」ともいわれる。また、日本に特別永住権を持つ「定住」外国人の約99% (約50万人) は、韓国・朝鮮人である。</p> <p>本講義を担当する私自身は、両親とも日本生まれの在日3世であり、その体験を客観的にふまえながら、在日の〈過去・現在・未来〉を出来るだけ具体的に提示し、その理解と認識を深めてゆく。</p> <p>その実践として、これまで在日韓国・朝鮮人を素材、またはテーマとして作られた映画 (自作の『潤の街』などを含む) や、テレビ・ビデオなどの映像作品をテキストとして利用することにより、在日を取りまく昨今の状況が、より具現化され、学生各自が、それぞれにとっても身近な課題であるということを感じ、理性や知識レベルにとどまらず、未来の可能性を押しひろげてゆくための感 (受) 性の領域に対する喚起も探究してゆきたい。</p> <p>学校や、職場 (芸能界・プロスポーツ界も例外ではない) などで、21世紀のいまだ本名を名乗りにくいなどという在日外国人をとりまく社会状況性を、受講者各自が、どのような関心を持って「受け止め」てゆくべきか。そのような、身近なところから、はじめてゆきたい。</p>		<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 在日韓国・朝鮮人問題とは何か 2 在日の歴史 3 在日の現状 4 「差別」の現状 5 在日はどのように表現されてきたか (映画やテレビ番組を中心に) 6 在日をどのように表現するか 7 在日の未来と展望 		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>平常・出席点と、期末のテスト (記述形式) を加味して評価する。</p>				<p>[参考文献]</p> <p>徐龍達・大沼保昭編「在日韓国・朝鮮人と人権」 (有斐閣)</p> <p>蔵田雅彦 (著) 「隣人としてのアジア」 (日本基督教団出版局)</p> <p>蔵田雅彦 (著) 「マイノリティを旅する」 (草風館)</p> <p>田中宏 (著) 「在日外国人」 (新版) (岩波新書)</p> <p>鄭早苗・徐正禹 (監修) 「新・よりよき隣人として」 (KMJ研究センター)</p> <p>桃山学院大学 (編) 「定住外国人の人権」 (改訂版) (桃山学院大学)</p>
<p>[教科書]</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
世界の文化Ⅲ（異類と異郷の民話学）		春 学 期	2 単 位	三浦 俊介
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>日本の民話には動物や神仏などの「異類」が登場するものや、主人公が異類の棲む「異郷」を訪問をするものがある。異類は、主人公を援助してくれるものや、主人公に敵対するもの、「隣の爺さん」につらく当たるものなど、様々な性格を持っている。また、異郷も、天上世界や竜宮城、鬼ヶ島や雀のお宿など、色々な場所に存在している。</p> <p>講義では、異類女房・異類簀（むこ）などの異類婚姻譚や、多様な異郷訪問譚を通して、日本の自然観・他界観を考察する。「一寸法師」「瘤取爺さん」「舌切り雀」「浦島太郎」など、日本昔話の中でも特に有名な昔話を取り上げた。</p>		<p>[講義計画] 講義は以下の内容で進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、神話・伝説・昔話 2、天人女房（一）鎮座型 3、天人女房（二）七夕由来型 4、竜宮女房 5、蛇簀入り 6、犬簀入り 7、桃太郎 8、力太郎 9、一寸法師 10、瘤取り爺さん 11、舌切り雀 12、浦島太郎（一）風土記・万葉集 13、浦島太郎（二）お伽草子・民話 14、異類と異郷の民話学 		
<p>[成績評価の方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定期試験の成績を重視する。 ② 毎回出席を取り、評価の参考にする。欠席過多者は不可。 		<p>[参考文献]</p> <p>山内昶『タブーの謎を解く』（ちくま新書）筑摩書房 稲田浩二・稲田和子『日本昔話ハンドブック』三省堂 中沢新一『熊から王へ』（講談社選書メチエ）講談社 五来重『鬼むかし』角川書店 林晃平『浦島伝説の研究』おうふう</p> <p>その他、多岐にわたるので、講義の中で随時紹介する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>教科書は特に定めない。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
世界の文化Ⅲ（境界と禁忌の民話学）		秋 学 期	2 単 位	三浦 俊介
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>日本の民話には、様々な形で「境界」や「禁忌」が関係している。「境界」は川や橋、浜辺や洞窟という目に見えるものだけでなく、子どもと大人との間という「境界時間」としても現れる。成人式は、境界を通過する人生儀礼である。</p> <p>境界には禁忌が付き物である。禁忌としては「開かずの部屋」「見るなの禁忌」などがある。しかし、神話や民話においてこれらの禁忌はいつも破られてしまう。なぜだろうか。</p> <p>あの世とこの世とを峻別し、両者が混淆するのを防ぐための禁忌もある。講義では、日本の民話に見える境界や禁忌の実態を明らかにし、日本の精神文化の一端を考察する。</p>		<p>[講義計画] 講義は以下の内容で進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、人界・異界・境界 2、猿むこ入り 3、猿地藏 4、猿の生き肝 5、ねずみ浄土 6、三枚のお札 7、食わず女房 8、鬼の子小綱 9、見るなの禁忌（一）神話 10、見るなの禁忌（二）昔話 11、継子いじめ譚（一）姥皮 12、継子いじめ譚（二）通過儀礼 13、手なし娘 14、境界と禁忌の民話学 		
<p>[成績評価の方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 定期試験の成績を重視する。 ② 毎回出席を取り、評価の参考にする。欠席過多者は不可。 		<p>[参考文献]</p> <p>山内昶『タブーの謎を解く』（ちくま新書）筑摩書房 稲田浩二・稲田和子『日本昔話ハンドブック』三省堂 中沢新一『人類最古の哲学』（講談社選書メチエ）講談社 梅原賢一郎『カミの現象学』角川書店 吉田敦彦『昔話の考古学』（中公新書）中央公論社</p> <p>その他、多岐にわたるので、講義の中で随時紹介する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>教科書は特に定めない。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
世界の文化Ⅲ (インド説話の世界)	01 02	春学期 秋学期	2単位 2単位	村 上 昌 孝
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>四方を高い山脈と海洋とによって遮断されたインドは、外部から交易や侵攻と共にもたらされた異質の要素を受容し、長い時間をかけて咀嚼することにより、独自の文化を育んできた。そのインド文化が、今度は逆に外部に影響を与えたのだが、その顕著な例として、インド説話の伝播が挙げられる。</p> <p>インドは説話の宝庫だと、よく言われる。人々の間で口伝の形で伝承されてきた説話は、インドでは非常に古い時代から文献化され、多数が現在まで保存されている。それらは、単にインド内部で広く親しまれてきたばかりではない。古来、インドの宗教や学術に興味を抱いた外来者たちが、インドの諸文献を自分たちの地域に持ち帰った。しかし、それらの地域では、当初の目的とは別に、インド文献に含まれていた説話が、人々の興味を引き付けた。人々は、インド説話を嗜好に応じて改変し、自分たちの説話を新たに作り上げた。現在、他の地域の説話として誰も疑わないが、実はインドに起源があるものは、少なくない。</p> <p>インド説話は、他の諸地域にも受容され得る要素を多く含みながらも、独自の文化の影響を色濃く受けているため、その理解は必ずしも容易ではない。この講義では、具体的なインド説話を扱いつつ、インド文化の普遍性と独自性について考察する。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>本来は口承であったインド説話が最初に文献化されたのは、宗教文献においてである。神を称え、難解な哲学を比喩的に説明し、善悪の行為とその結果を明示する。これらの目的のため、元来、宗教とは無関係だった民間の説話が、改変・利用されたのである。</p> <p>説話から何らかの教訓を導き出そうという考え方は、世界のどの地域にも見られるが、インドでも例外ではない。文献におけるその最初の試みは、二大叙事詩の一つ『マハーバーラタ』に見られる。『マハーバーラタ』の説話の多くは、大枠の話の登場人物の対話の中で、エピソードとして紹介される。一方が、宗教・哲学・政治などに関して質問すると、他方が、自分の見解の例証として説話を語り始めるのである。『マハーバーラタ』と前後して制作され始めた、政治的教訓を含む寓話集でも、この枠組み形式は踏襲された。</p> <p>説話自体の面白さに着目した説話集が編集され始めるのは、西暦紀元前後のことである。この種の説話集は、説話の数量を競うもの、謎解きを中心としたものに大別できる。</p> <p>この講義では、インド世界の概観の後、この地で生まれた説話が文献に取り込まれた際の変容を、文献の成立順に見ていく。その後、インド説話の東西伝播の過程で生じた問題を取り扱う。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>平常点とレポートによる。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>ヴィンテルニッツ、中野義照訳『インドの学術書』（インド文献史 第6巻）、和歌山、日本インド学会、1966。 ルイ・ルヌー、渡辺重朗・我妻和男共訳『インドの文学』（文庫クセジュ774）、東京、白水社、1996。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>講義の際に資料を配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
歴史と社会Ⅰ (ナチズムとその時代)	01 02	春学期 秋学期	2単位 2単位	山 田 義 顕
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>本年は、ナチズムの生成と崩壊の過程を扱う。第一次世界大戦後にドイツに出現したヒトラーの運動が、その後のヨーロッパ、そして世界全体に破滅的な作用を及ぼしたことは周知の事実である。しかし、それを単に「狂気」「異常」として片づけることができるのであろうか。ナチズムを運動・思想・体制の側面から考察し、それを当時の社会状況との関連で再検討してみたい。なお、講義のさいにミニ・レポートを課することがある。質問・疑問などを書いてもらい、それにもとづいてさらに講義を進めることにしたい。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>主なテーマ</p> <p>①ナチズムが登場した時代：初期ナチズムの特徴について論じ、ナチ党が政権を掌握するまでの過程を概説する。 ②ナチ国民革命：ヒトラーの政権掌握と国内における一党独裁の確立の過程を扱う。 ③ナチ対外政策：1930年代のドイツを中心に、ヨーロッパ国際関係の展開について論じる。 ④ユダヤ人問題の最終的解決：ユダヤ人の大量殺戮はどのようなプロセスをたどって実行されたのであろうか。この問題をヒトラーの人種論などを手がかりにして考察する。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席と、レポートもしくは試験によって評価する</p>	<p>[参考文献]</p> <p>講義中に必要に応じて指示する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>なし。講義のさいに、プリントを配布する</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
歴史と社会Ⅲ (スウェーデン社会システム)	01 02	春 学 期 秋 学 期	2 単 位 2 単 位	伊藤 正純
<p>[講義概要・学習目標] なぜいまスウェーデンなのか。それは、スウェーデンのシステム（制度）が日本の対極にあるからだ。急速な情報化・高齢化・グローバル化の進展のなか、日本の保守的・自由主義的政策は制度疲労を引き起こしている。これに対して、今日の「知識社会」への適合にいち早く成功したスウェーデンの社会民主主義的な制度設計（＝政策の組み合わせ）は、1990年代の経済危機を克服し、新たな発展の段階にはいつている。現在のスウェーデンを特徴づけるキャッチフレーズは、地方分権型福祉社会、個性重視社会、環境先進国、IT立国である。 本講義では日本にも言及するが、しかし、語るのは制度からみたスウェーデンの政治、経済、社会と、そこでのスウェーデン人たちの暮らしである。特に、「雇用」「女性」「家族」「環境」に多くの時間をさきたい。そして、スウェーデン人の感性（生活観）と日本人のそれとの違いを伝えたい。</p>	<p>[講義計画] 1. 生活の安全と知識社会型産業を両立させている高負担高福祉。公正な選挙制度、地方分権型福祉社会（暮らしと政治の距離の近さ）。活躍するNGO。生活規範としての個人主義。自由、平等、連帯、中庸。 2. 雇用：資本と労働との対立的で協調的な関係、組織対組織、生涯学習と職業訓練。障害者福祉。 3. 女性：専業主婦のいる国からいない国へ、職業女性。 4. 家族：結婚－離婚、同居－別居、子ども。 5. 環境：エコロジカルな持続的発展、環境税、ゴミ処理。 6. グローバル化：EU加盟、国連での活動。</p>			
<p>[成績評価の方法] 出席をとる。平常点50点、学期末筆記試験50点。</p>	<p>[参考文献] 1. 岡沢憲美・宮本太郎編著『スウェーデン・ハンドブック』 早稲田大学出版部 2. 篠田武司編著『スウェーデンの労働と産業』学文社 3. 猿田正機『福祉国家スウェーデンの労使関係』ミネルヴァ 書房 4. 猿田淑子『スウェーデンからの便り』文真堂 5. 伊藤和良『スウェーデンの修復型まちづくり』新評論 6. 馬場憲男『NGO先進国スウェーデン』明石書店</p>			
<p>[教科書] 二文字理明・伊藤正純編著『スウェーデンにみる個性重視社会』桜井書店</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
思想と宗教Ⅰ (インディオとキリスト教)		春学期	2 単 位	小 柳 伸 顕
<p>[講義概要・学習目標] 被抑圧者の福音として出たキリスト教が、やがて制度化され、支配者の宗教となったとき、どんな道と歩んだでしょうか。中世(15c~16c)のスペインのキリスト教(カトリック教会)と手がかりに考えます。コロン(1451~1506)に代表されるスペイン人キリスト教徒は、インディオ(中南米の先住民族)に対し神の名のもとに何をなしたでしょうか。また、その批判者として彼の生涯を生きたラス・カサス(1484~1566)は、どんな道とたどつたかを検討します。</p>	<p>[講義計画] 1. ユダヤ教、イエスとキリスト教 2. 1492年のスペイン－キリスト教、イスラム教、ユダヤ教 3. 「新大陸」のコロン－黄金と神。 4. 植民者ラス・カサスの誕生。 5. 司祭ラス・カサスの歩んだ道。 6. 「インディオは人間か」論争－ラス・カサスとセポールベタ。 7. インディオとキリスト教 ● 各項目について1~3回とりあげます。</p>			
<p>[成績評価の方法] 期末テスト（授業中に実施する小レポートも評価の参考にします）</p>	<p>[参考文献] ● ラス・カサス『インディオス史』(岩波書店、大航海時代叢書21-25) ● 石原保徳『インディオの発見』(田畑書店) ①-6 ● 柴田秀藤『ラス・カサス』(清水書院) ● セポールベタ『征服戦争は是非か』(岩波書店、新世界の批判) ● 増田義郎『新世界のゴートピア』(中公文庫) ● 小岸 昭『スペインを追われたユダヤ人』(たま学芸文庫) ● 斎藤 晃『云鬼の征服－アビスにおける改革の政治学』(平凡社)</p>			
<p>[教科書] なし。ただし、授業中に関係資料と配布します。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
思想と宗教Ⅰ (アイヌとキリスト教)		秋学期	2単位	小 柳 伸 顕
[講義概要・学習目標] バレンチに生れたキリスト教は、ハロウロによってヨーロッパ世界へと広がります。イギリスもまたアジアのキリスト教化を試みます。イギリス聖公会の世界宣教です。宣教師J.バチエーは、日本政府が日本の先住民族アイヌを「土人」と呼称していた時代に来日し、アイヌ民族にキリスト教を伝えます。アイヌ民族の歴史の中で、J.バチエーはどのような役割をはたしたのかと、かれの足跡をたどる中で検討します。	[講義計画] 1. ユダヤ教、イエスとキリスト教。 2. 日本社会とキリスト教 - F.ザビエルからJ.バチエーへ。 3. アイヌ民族の歴史。 4. シサムと言われた松浦武四郎。 5. 宣教師J.バチエーは、シサムだったか。 6. バチエー、ハチエーとキリスト教。 7. アイヌ民族とキリスト教。 - 知里幸恵、遠星北斗からみたキリスト教 * 1~3回と交代します。			
[成績評価の方法] 期末テスト(授業中に実施するレポートの評価を参考とします)	[参考文献] ・宮島利光『4キサンニの大地』(日本キリスト教団出版局) ・新谷 行『増補 アイヌ民族抵抗史』(三一書房) ・萱野 茂『アイヌの石』(朝日新聞社) ・松浦武四郎(現代訳)『アイヌ人物誌』(農山漁村文化協会) ・花崎昇平『静かな大地-松浦武四郎とアイヌ民族』(岩波書店) ・仁多見 敬『果境の使徒(バチエー伝)』(北海道新聞社) ・掛川源一郎『バチエー-ハチエーの生涯』(北海道出版企画センター)			
[教科書] なし。ただし、授業中に関係資料を配布します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
思想と宗教Ⅲ (神道と仏教)	01 02	春 学 期 秋 学 期	2単位 2単位	三 宅 正 彦
[講義概要・学習目標] 古代から現代にいたるまで日本人の思想形成に大きな影響を与えてきた神道と仏教の特性と追究する。基本資料の読解を重視する。	[講義計画] (1)神道について (2)『古事記』について (3)仏教について (4)浄土三音経について			
[成績評価の方法] 期末試験(講義に欠かさず出席して、内容の理解に努めれば単位取得は容易である。欠席したり授業に集中しなかったりすれば単位取得は困難である。)	[参考文献] 授業中にそのつど紹介する。			
[教科書] 資料を配付する。ただし、配付時に出席していた人(1回限り)で配付する。そのとき欠席した人には追加配付を行わない。資料をなくしたり、持参するのを忘れた人に対して再配付は行わない。毎時資料を持参しなければ授業理解は困難である。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
思想と宗教Ⅲ (悟りと救いの構造)	01 02	春 学 期 秋 学 期	2 単 位 2 単 位	武田 耕道
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>イ、色はにほへど散りぬるを わが世誰ぞ常ならむ 有為の奥山今日こえて 浅き夢みじ 酔ひもせず</p> <p>ロ、祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり 沙羅双樹の花の色 盛者 必衰の理をあらはす</p> <p>ハ、信は願より生ずれば 念仏成仏自然なり 自然はすなはち報土なり 証大涅槃うたがはず</p> <p>ニ、娑婆永劫の苦をすてて 浄土無為を期すること 本師釈迦のちからなり 長時に慈恩を報ずべし</p> <p>「いろは歌」、「平家物語」の冒頭、そして「三帖和讃」の二首である。 七五調の和文で綴られ、仏教思想の心髄を表明している。つまり有為転変 の人生無常と永遠不変の理想世界への願望を歌いあげている。 講義では、無常思想の流れと久遠常住世界の讃歌について論ずる。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>1、序 永承7年(1052)</p> <p>2、三法印</p> <p>3、いろは歌</p> <p>4、正像末法思想</p> <p>5、悟りと修行</p> <p>6、救いと信心</p> <p>7、自力他力事(隆寛律師)</p> <p>8、三帖和讃</p> <p>9、往生礼讃</p> <p>10、讃美 讃歌 讃嘆</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末試験と出席状況</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業中に紹介</p>			
<p>[教科書]</p> <p>特に指定せず</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
思想と宗教Ⅳ (心の本性—哲学的見地から)	01 02	春 学 期 秋 学 期	2 単 位 2 単 位	木下 昌巳
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>人の心とは何か？それは我々が何よりもいちばん知りたいことの一つである。近年の心理ゲームの流行や「私探し」という現象も、その関心の現れとして見なすことができるだろう。哲学においても、人間の心の本性をどうとらえるかということは、古代より多くの哲学者の中心的な関心の一つであった。今世紀になり人間の心を対象とする学問として心理学が成立し、学問的研究対象としての人間の心を哲学から奪ってしまった感があるが、哲学者たちの心に対する正面からのアプローチは、現代の行動科学的な心理学のアプローチと比べて、なお魅力的であり続ける。この講義では、プラトン、デカルト、フロイトの三人の思想家を取り上げて、彼らの心に対する見方を今日のトピックを交えながら論じていくことにする。授業の内容は、それなりにハードなものであり、「心理ゲーム」的な内容を期待するのであれば、当てがはずれることになるだろう。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>1、序論</p> <p>2、プラトン</p> <p>3、デカルト</p> <p>4、フロイト</p> <p>5、現代の哲学的アプローチ</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>学期末のテスト 80点 授業内のエッセイ 20点</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業中に指示する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>なし</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術 I (宇宙論)	01 02	春学期 秋学期	2単位 2単位	桑原雅子
[講義概要・学習目標] 宇宙論は、それぞれの時代における人間の叡知の結晶である。この講義では、近代から現代にいたる自然科学によってもたらされた宇宙像を中心に講述する。天文学、素粒子物理学、さらに観測装置やロケットなど技術のめざましい進歩によって、われわれは宇宙の始源について正確なシナリオを描き、宇宙の構造について精緻な知見をもつにいたった。現代科学は、物質世界の統一的記述に一応成功しつつあるといえよう。 文系の学生諸君に宇宙科学最前線のテーマをわかりやすく話すことは、担当者にとっても至難の技であるが、チャレンジしてみよう。この講義をとおして、現代科学の方法、科学と技術の分かち難い関係、巨大科学の進展と国家の科学技術政策とのかかわりについて考えるきっかけを提供したい。 古来から宇宙について省察することは、人間存在について思いをめぐらせることであった。コスモロジーとしての人文的側面も重視したい。		[講義計画] 序章 はじめに：宇宙論小史 1. 近代科学の宇宙像 2. 観測と理論 18-19C 3. 銀河と宇宙の構造 4. 膨張する宇宙 5. 相対論的宇宙論 6. ビッグバン・モデル 7. 重元素生成と星の一生 8. 素粒子の世界 9. 標準理論を超えて 10. 観測的宇宙論の新展開 終章 おわりに：宇宙と人間		
[成績評価の方法] 期末試験による。 授業中に課する小レポートを参考にする。		[参考文献] 講義中に指示する。		
[教科書] 使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術 I (核の時代)	01 02	春学期 秋学期	2単位 2単位	桑原雅子
[講義概要・学習目標] 核の時代の恐怖は、冷戦の終結とともに終わりを告げたかと期待されたにもかかわらず、21世紀もまた「核の時代」として幕を開けた。 原子核分裂反応が発見されたのは、第2次世界大戦前夜であった。核分裂反応によって放出される莫大なエネルギーを、兵器として利用するために、第2次大戦下、科学者・技術者を総動員して実施されたのが、アメリカの「マンハッタン・プロジェクト」と呼ばれる原爆製造計画である。 この講義では、まず核反応の物理学について学んだのち、科学、国家、戦争、科学技術政策、科学者の社会的責任など、さまざまな視点からこのプロジェクトを検討する。 次に第2次大戦後の「核エネルギーの商業利用」つまり原子力発電の諸問題について、同様の視点から分析する。最後に、あらたな展開をみせる現代の核兵器の問題を取り上げる。市民としての的確な判断力を培うには、科学技術の内容について正確な知識をもつことが大切である。		[講義計画] 1. 原子核の構造 2. 核分裂反応 3. 原子炉のしくみ 4. マンハッタン・プロジェクト 5. 核エネルギーの商業利用—原子力発電 6. 高速増殖炉と核燃料サイクル 7. 原子力発電の問題点 8. 原子力発電の事故 9. 現代の核兵器 10. 核エネルギーと人間の未来		
[成績評価の方法] 期末試験による。 授業中に課する小レポートを参考にする。		[参考文献] 講義中に指示する。		
[教科書] 使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術Ⅲ — 化学汚染と生活環境 Ⅰ —		春学期	2 単位	井 田 和 子
【講義概要・学習目標】 現代文明を特徴づけている科学と技術とはいったいどのような科学・技術をさすのか。科学技術はどこへ行こうとしているのか。科学や技術が産業構造だけでなく、社会や政治さらには人間の生存そのものにも、かかわりあいを持つものになってきた。 身近な地域の公害問題を解決し、環境保全の立場にたった科学技術の発展が急務である。	【講義計画】 1. 水環境：水の特性と働き、水的环境、都市に水を安定供給する方法、河川水の水質汚濁、ダムの歴史と現状 2. 大気環境：環境大気の種類と組成、環境大気の大気汚染物質、光化学スモッグ、ヒート・アイランド 3. 土壌環境：土壌の誕生と機能、都市土壌の特徴、土壌汚染、市街地の土壌汚染の防止 4. 環境資源としての森林の働き 5. 有機塩素系化合物（環境ホルモン）の毒、化学物質の拡散			
【成績評価の方法】 テーマに関するビデオを見て数回のレポートを書いてもらい、期末テストの結果とあわせて評価する。	【参考文献】 印刷教材（一心社印刷） 井田和子著 環境問題と科学技術			
【教科書】 毎回プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術Ⅲ — 化学汚染と生活環境 Ⅱ —		秋学期	2 単位	井 田 和 子
【講義概要・学習目標】 歴史の歩みの中で科学や技術はどのような役割を果たしてきたか、人間社会の未来に対してどのようにかかわりあっているのか。 科学技術が経済構造、社会や政治、人間そのものにまで、深いかわりを持つようになってきた。 生産者ではなく、消費者主導の、環境保全の立場に立った科学技術の発展が急がれる。	【講義計画】 1. オゾン層の破壊：破壊機構とフロンガス 2. 地球の温暖化：温暖化と化石燃料、温暖化の影響 3. 酸性雨と環境の酸性化：高度工業化と酸性化問題 4. 熱帯林減少：経済問題と気象への影響 5. 人為が原因の砂漠化 6. 海洋の有機塩素化合物汚染 7. 環境問題と科学技術 産業と環境、交通と環境、開発と保全			
【成績評価の方法】 テーマに関するビデオを見て数回のレポートを書いてもらい、期末テストの結果とあわせて評価する。	【参考文献】 印刷教材（一心社印刷） 井田和子著 環境問題と科学技術			
【教科書】 毎回プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術Ⅳ (情報と論理)	01 02	春 学 期 秋 学 期	2 単 位 2 単 位	後 藤 邦 夫
[講義概要・学習目標] コンピュータの内部やインターネット回線を駆け巡る「情報」はいわゆるデジタル化された情報であり、ただ二種類の記号（バイナリー・コードという）で表現された長い列になっている。他方、論理学では正と誤という二種類の判断をやはり二種類の記号（例えば1とゼロ）で表わす。両者の間には何か関係があるのだろうか。 私たちが使っている広い意味の「ことば」の形式的な側面を符号列として扱うのが「情報の理論」であり、論理学の規則にしたがって「情報」の形を変化させる仕組みを扱うのが「計算の理論」である。これらは私たちの身近で広く使われているものであるが、必ずしも理解に容易であるとはいえない。このようなモデルは「科学技術」による情報の扱いにとっては好都合のものであるが、人間が互いに言葉を交わしながら考えるという「情報処理の原点」を変えつつある。その解釈をめぐる、多くの哲学的議論がある。この講義では、できるだけ平易にこのテーマを解説し、人間のコミュニケーション行為、さらに人間そのものを理解する助けとしたい。		[講義計画] 以下のテーマをそれぞれ2、3回ずつ扱う。 (1) 議論の前提となる基礎的事項：集合の構造とその表現。 (2) 情報の理論的基礎（シャノンの理論）。 (3) 2進法の代数と論理学の関係。 (4) 「言葉」と「論理」とコンピュータ。 (5) 人間の行為としてのコミュニケーションとの関係。		
[成績評価の方法] 手 記 試 験 に よ り、レポートを課し、 答 案 に よ る。	[参考文献]			
[教科書] 使用しない。必要に応じてプリント等を配付する。	部分的な問題については、おびただしい良書がある。しかし、このテーマを一貫して扱った本は意外に少ない。講義に際して配付するシラバスでその一部を挙げるが、他はテーマごとに授業中に示す。			

「論述作文」クラス一覧

クラス	担当者	時間割 コード	ページ	クラス	担当者	時間割 コード	ページ	クラス	担当者	時間割 コード	ページ
01	岩男久仁子	52373	92	05	生瀬 克己	42378	93	09	柳父 章	42380	95
02	"	53373	92	06	深澤 徹	51371	94	10	串田 久治	54371	96
03	木下 昌巳	12374	92	07	松永 俊男	42379	94				
04	小柳 伸顕	32375	93	08	三浦 俊介	12375	95				

1. 実習的性格をもつ授業のため、1クラスの受講生は30名以内に制限します。従って応募者が定員を超えた場合は、クラスへ参加できないことがあります。
2. どのクラスも出席を重視します。一定の成果をあげるために、持続的な訓練が欠かせないからです。
3. 授業を円滑に運営し、よりよい成果をあげるために、上記「クラス一覧」のとおりクラス分けをします。
4. 98～01生については、学則上「共通自由科目（共通系）（2単位）」に位置づけられています。しかし、カリキュラム改訂により開講する「論述作文」は、4単位（通期）科目となりました。ただし、皆さんが「論述作文」を履修すれば、履修（登録）単位は2単位となるので注意してください。
5. 履修登録にあたっては、以下のとおり事前に**予備登録（先着順ではない）**が必要です。

対 象 者：98～01生（全学部・全学科）

定 員：30名定員

予備登録日：3月18日（木）～23日（火）

予備登録時間：【平日】9:10～16:40（11:30～12:30 昼休憩）

【土曜】9:10～13:00（11:30～12:30 昼休憩）

場 所：自由投函箱（教務課ロビーに設置）

クラス発表：3月30日（火）「聖アンデレ館下掲示板」および「授業情報ホームページ」

申 込 方 法：①「論述作文予備登録票」に必要事項を記入し投函してください。

- ② 希望するクラスを3つ以内で記入してください。ただし、同一クラスを記入することはできません。また、すでにクラス発表されたものや、予備登録で決定したものと重ならないようにクラスを選定してください。

- ③ 「論述作文予備登録票」の用紙は、教務課カウンターに置いています。

「コンピュータ利用 I」クラス一覧

クラス	担当者	時間割コード	ページ	クラス	担当者	時間割コード	ページ	クラス	担当者	時間割コード	ページ
01	北條 仁志	71371	85	15	永田 淳次	61371	87	29	崔 宇	31375	88
02	"	72371	85	16	"	61372	87	30	"	32373	88
03	岩田 賢造	41373	85	17	"	62371	87	31	"	32374	88
04	"	41374	85	18	"	62372	87	32	水口 薫	41375	89
05	"	42374	85	19	初瀬 慎一	12372	87	33	"	41376	89
06	"	42375	85	20	"	12373	88	34	"	42376	89
07	田中 裕顕	33373	86	21	"	13375	87	35	"	42377	89
08	"	33374	86	22	"	13376	88	36	"	23372	89
09	"	34371	86	23	"	31372	87	37	"	24371	89
10	"	34372	86	24	"	31373	88	38	"	43374	89
11	田村 昶三	21372	86	25	"	33375	87	39	"	44372	89
12	"	21373	86	26	"	33376	88	40	巖 圭介	22373	90
13	"	22371	86	27	"	32372	88				
14	"	22372	86	28	崔 宇	31374	88				

1. 実習的性格をもつ授業のため、1クラスの受講生は35名以内に制限します。従って応募者が定員を超えた場合は、クラスへ参加できないことがあります。
2. どのクラスも出席を重視します。一定の成果をあげるために、持続的な訓練が欠かせないからです。
3. どのクラスも今までコンピュータに触れたことのない者を対象として、初歩的なコンピュータリテラシーの伝授を行うことを目的としています。
4. 授業を円滑に運営し、よりよい成果をあげるために、上記「クラス一覧」のとおりクラス分けをします。
5. この科目は、学則上「共通自由科目（共通系）（2単位）」、社会福祉学科生は「社会福祉学科自由科目（2単位）」に位置づけられています。
6. 履修登録にあたっては以下のとおり事前に**予備登録（先着順ではない）**が必要です。

対象者：98～01生（全学部・全学科）

定員：35名

予備登録日：3月18日（木）～ 23日（火）

予備登録時間：【平日】 9:10～16:40（11:30～12:30昼休憩）

【土曜】 9:10～13:00（11:30～12:30昼休憩）

場所：自由投函箱（教務課ロビーに設置）

クラス発表：3月30日（火）「聖アンデレ館下掲示板」および「授業情報ホームページ」

申込方法：①「コンピュータ利用 I 予備登録票」に必要事項を記入して投函してください。

② 希望するクラスを3つ以内で記入してください。

ただし、同一クラスを記入することはできません。また、既に予備登録を済ませた科目やクラス発表のあった科目と重ならないよう注意してください。

③「コンピュータ利用 I 予備登録票」の用紙は、教務課カウンターに置いています。

<注意>経営学部生については、「ビジネス情報利用（旧プログラミング論B）」と「コンピュータ利用 I」の、いずれか一方しか履修・修得することができないので注意してください。

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋近代史		通 期	4 単位	山 田 義 顕
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>近代ヨーロッパとは、ヨーロッパの拡大の時代でもあった。しかしこの時代は、必ずしも明るい時代だったとはいえないし、この時代全体を通じてヨーロッパ諸国による世界支配、つまり非ヨーロッパ地域の隷属化が完成するのである。</p> <p>この講義では、いくつかのテーマを設定して近代の暗い面と明るい面をとりあげることにするが、学生諸君には、歴史のなかで「近代」のもつ意味を改めて考えてもらいたい</p> <p>なお、講義のさいにミニ・レポートを課することがある。質問・疑問などを書いてもらい、それにもとづいてさらに講義を進めることにしたい。</p>		<p>[講義計画]</p> <p>主なテーマ</p> <p>①時代区分としての「近代」：近代とはどのような時代か。いくつかの時代区分を紹介したうえで、近代の特質を考える。</p> <p>②ペスト：中世後期から19世紀まで、ヨーロッパ社会は断続的にペストに悩まされた。このペストが社会に与えた影響について考える。</p> <p>③魔女：魔女とは何か。魔女はなぜヨーロッパ特有の現象だったのか。</p> <p>④宗教改革：時代背景を整理したうえで、ルターとカルヴァンの職業観の比較をおこなう。</p> <p>⑤大航海の時代：ヨーロッパの拡大の過程と、それがもたらした諸問題について論じる。</p> <p>⑥奴隷貿易：大西洋を中心とした奴隷貿易とその意味について論じる。</p> <p>⑦産業革命：研究史を紹介したうえで、この革命がもたらした功罪を考える。</p> <p>⑧19世紀ナショナリズムの諸問題：その概念、発現形態、具体例（ドイツ統一）などについて論じる。</p> <p>⑨帝国主義の時代：19世紀後半のヨーロッパ列強の対立・抗争について論じ、第一次世界大戦への道を探る。</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席と、レポートもしくは 試験によって評価する</p>		<p>[参考文献]</p> <p>講義中に必要に応じて指示する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>なし。講義のさいに、プリントを配布する</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語研究特講 一社会言語学の実践一		通 期	4 単位	村 上 敬一
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>この講義では、社会言語学の主要な研究手法であるフィールドワークを通じて、日本語の多様性についての理解を深めることを目指す。具体的には、関西方言の世代差や共通語化、及び西日本諸方言への共通語と関西方言の影響など言語接触にかかわる問題を調査・研究する。調査によって得られた言語形式がどのような過程を経て発生し、今のような状況にあって、これからどうなるか、という視点からの調査・研究を進めていきたい。いずれの問題も、実際の具体的で客観的なデータが不可欠になる。意欲をもってことばの調査に取り組む行動力も必要となる。</p>		<p>[講義計画]</p> <p>第1回 受講にあたっての注意 第2回～第4回 社会言語学の実際の研究例紹介 第5回～第9回 関西方言にかかわる先行研究の概観 第10回～第11回 調査票の作成 第12回～第13回 予備調査の実施 第14回～第15回 本調査にあたって 第16回～第17回 調査結果のまとめ方 第18回～第24回 調査結果の入力と考察 第24回～第29回 個人別の演習発表 第30回 まとめ</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席 夏休み中のフィールドワーク（方言調査） 後期に実施する、演習形式の発表 まとめのレポート</p>		<p>[参考文献]</p> <p>金沢裕之 近代大阪語変遷の研究 和泉書院 小林隆／篠崎晃一編 ガイドブック方言研究（ひつじ書房） 中井・宮治・ロング編 応用社会言語学を学ぶ人のために 世界思想社 その他、講義中に紹介する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>真田信治 『関西・ことばの動態』 大阪大学出版会</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
教育行政学		秋学期	2単位	竹 中 暉 雄
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>もともと教育は、家庭や地域における私的なことがらとして自然発生的に行なわれてきた。しかし、近代以降、国家的な必要性から公教育制度が作られてからは、国家や地方公共団体が教育に大きく関わることとなった。そのために国家的な教育理念が作られ、それが教育法規にまとめられ、それらを実現するために教育行政が必要になる。</p> <p>教育行政も行政という権力作用の一環であるのでかなり強制的性格をもち、また不公平・恣意的とならないように、ある程度、画一的にならざるをえない。ここに私事性と公共性（国家性）との激しい対立が生まれる。</p> <p>戦前の教育のことを反省すれば、あまりに国家が前面に出ることは好ましくない。一方、現在では規制緩和という大きな流れがあり、株式会社による中学校や大学に代表されるように、学校教育も市場原理に委ねる試みがなされている。しかしこの方向がベストなのかどうか疑問である。この難しい二律背反の問題について考えてみたい。</p>		<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育と教育行政 2. 私事性と公共性 3. 国家教育行政 4. 国家教育行政の諸問題 5. アンチ教育行政学の意義と限界 6. 地方教育行政（教育委員会制度） 7. 教育情報公開の問題 8. 学校選択制度 9. 学校委員会の考え方 10. 教育と市場原理 		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>論述試験による</p>		<p>[参考文献]</p> <p>奥田泰宏『市民・子ども・教師のための教育行政』中央大学出版会 榊達雄『教育自治と教育制度』大学教育出版 日本教育行政学会編『教育の市場化・民営化を問う』日本教育行政学会 平原春好『教育行政学』東京大学出版会 『解説教育六法』三省堂 黒崎勲『教育行政学』岩波書店</p>		
<p>[教科書]</p> <p>使用しない</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
教育・心理学特講 (不登校といじめ問題)		春学期	2単位	林 陸 雄
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>青年期の子ども達の心のゆれについて、「不登校」と「いじめ」問題等を手がかりに考えたい。保護者側の問題として浮上している「児童虐待」を取り上げると共に、子どもの問題に対する治療実践や教育実践についても見ていきたい。毎回、ビデオ資料を手がかりにする。</p>		<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期の特徴 2. 14歳の心の風景 3. 子ども達のSOS 4. 教師、今何ができるか 5. 中学生日記 激論ドラマ「いじめ」 6. 不登校 7. 絵の中のわたし 8. ひきこもり 9. 児童虐待 10. 不登校児から学ぶこと 11. 非行診療室 12. 北星学園余市高校 13. 梅子先生 		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末考査の結果をもとに行う。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>授業内で、適宜紹介する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>使用しない</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
教育・心理学特講（英国のグローバル教育）		春学期	2 単位	大野 順子
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>21世紀を迎え、社会は以前にも増して、「国際化」「グローバル化」の波をうけています。しかしながら、私たちのすむ地球上では、貧困、紛争、環境破壊など、さまざまな問題が残っています。</p> <p>このような地球規模的課題（グローバル問題）に対し、主体的に行動できる市民を育てようと、2000年、イギリスでは大幅な教育改革が行われました。本講義では、その改革に至った経緯を含め、具体的にイギリスの学校教育現場で行われている事例を検証しながら、さまざまな「学びのかたち」について学習していきます。</p>		<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イギリスにおける一般的な学校教育制度や授業形態等についての理解、および他国（日本）との比較研究。 2. 新「ナショナル・カリキュラム2000」について。 ※ 2000年に行われた教育改革の目的、意義について。 3. 新カリキュラムに盛り込まれたキーワードについての検証。 4. イギリス公立学校現場（中学・高等学校）における事例研究。 5. さまざまな「学びのかたち」— 多様な教育理念について。 ※ 開発教育、環境教育、平和教育、人権教育、グローバル教育、多文化教育、地球市民教育の理念とその実践について。 		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席、及びレポート等により総合的に評価。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>Runaway World – How Globalisation is reshaping our lives – Anthony Giddens 著</p>		
<p>[教科書]</p> <p>特に指定しない。</p>		<p>世界の開発教育 オードリー・オスラー著</p> <p>※その他、適時紹介する。</p>		

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
教育・心理学特講（検証：総合的学習の時間）		秋学期	2 単位	大野 順子
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>2002年度の学習指導要領の変革に伴い、「総合的な学習の時間（以下、総合学習）」の導入がはじまった。</p> <p>国際理解・情報・環境・福祉・人権などがテーマとして例示され、扱うトピックに関しては、学校の判断に委ねられているが、人権や地球規模の課題について学び、グローバルな視点を養う絶好の機会となっている。しかし、教育現場では、総合学習の主旨の理解や考え方、実践のための課題、その取り組み方法などについて、いまだ模索中なのが現状である。</p> <p>そこで実際に学校現場で総合学習の時間にどのような取り組みがなされているのか、実践する上で問題点や課題など、具体例をあげながら、その実態にせまる。</p>	<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「総合的な学習の時間（以下、総合学習）」の設立経緯。 2. 総合学習の意義、及びその「ねらい」について。 3. 総合学習実践事例研究 <ol style="list-style-type: none"> ① どのようなテーマが扱われているか。 ② 実施方法について ③ 他分野との連携 ④ 実施するうえでの問題点 4. 総合学習をより効果的に実施していくための提言。 <ol style="list-style-type: none"> ① 必要な制度、しくみについて。 ② 教員養成の観点から。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席、およびレポート等により総合的に評価。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>適時紹介する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>特に指定しない。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																
民法概論		春学期集中	4単位	林 錫璋																
<p>[講義概要・学習目標] 民法の全体像を俯瞰した上で、契約法を中心に、物権法・担保物権法、債権法、不法行為法、親族法、相続法などにつき概説し、時々判例を織り込んで講述する。</p>	<p>[講義計画]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 民法とは何か</td> <td>2 民法の基本原則</td> </tr> <tr> <td>3 権利能力と行為能力</td> <td>4 意思表示</td> </tr> <tr> <td>5 成年後見制度</td> <td>6 代理制度</td> </tr> <tr> <td>7 条件と期限</td> <td>8 時効制度</td> </tr> <tr> <td>9 物権と債権の違い</td> <td>10 典型的契約</td> </tr> <tr> <td>1 1 不法行為</td> <td>1 2 夫婦と親子</td> </tr> <tr> <td>1 3 扶養</td> <td>1 4 相続</td> </tr> <tr> <td>1 5 相続の承認と放棄</td> <td>1 6 遺言と遺留分</td> </tr> </table>				1 民法とは何か	2 民法の基本原則	3 権利能力と行為能力	4 意思表示	5 成年後見制度	6 代理制度	7 条件と期限	8 時効制度	9 物権と債権の違い	10 典型的契約	1 1 不法行為	1 2 夫婦と親子	1 3 扶養	1 4 相続	1 5 相続の承認と放棄	1 6 遺言と遺留分
1 民法とは何か	2 民法の基本原則																			
3 権利能力と行為能力	4 意思表示																			
5 成年後見制度	6 代理制度																			
7 条件と期限	8 時効制度																			
9 物権と債権の違い	10 典型的契約																			
1 1 不法行為	1 2 夫婦と親子																			
1 3 扶養	1 4 相続																			
1 5 相続の承認と放棄	1 6 遺言と遺留分																			
<p>[成績評価の方法] 出席、レポートと期末試験による総合評価</p>	<p>[参考文献] 追って指示する</p>																			
<p>[教科書] 中川淳ほか著『新はじめての民法（第2版）』（法律文化社） コンサイス判例六法（三省堂）</p>																				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
商法概論		秋学期集中	4単位	瀬谷ゆり子
<p>[講義概要・学習目標] 現代の経済活動の中心的な担い手である企業について、その組織と活動を巡る法律関係は、こういった社会で活動することになるものは知っておく必要がある。 ここでは、商法の分野に入る全般的な解説をおこなうが、できるだけ身近な話題を取り入れながら講義を進めたいと考えている。</p>	<p>[講義計画] 概ね、以下のような順で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業と法 取引社会の法規整 2. 商法の適用範囲 商人と商行為 3. 会社とは 会社の種類 株式会社の組織と運営 企業再編 4. 商行為 民法と商法の交錯 商事売買 5. 保険 損害保険 生命保険 6. 資金決済方法 銀行取引と手形・小切手 			
<p>[成績評価の方法] 試験の方法による。なお、授業中、2～3回確認のためのクイズを行い、これも評価に加算する。</p>	<p>[参考文献] 出版社は問わないが、必ず最新版の六法を用意すること（昨年度のものでも使えません）。</p>			
<p>[教科書] 近藤 光男編 『現代商法入門』（有斐閣アルマ）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
統計学		通 期	4 単位	安 藤 洋 美
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>統計学の知識はあらゆる科学の研究の中で利用されている。最近では統計パッケージが普及して、データを入力すれば、統計量はたちどころに計算されるし、グラフも難なく描ける。そんなわけで、この講義では統計的な諸概念を確実に理解してもらうように、説明をしていく予定である。また、統計学の歴史的な発展の過程も併せて講義する。</p> <p>元来、統計学は数学解析を必要とするが、数学の予備知識は高校1年程度の台数と幾何の内容があれば、なんとか理解出来るようにするつもりである。ただ、紙と鉛筆と電卓はいつも持って来てほしい。演習を中心に、時間内に理解出来るようにしたい。</p>	<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計学の目的と歴史 2. 集団の特性値を示す数値（位置の測度とバラツキの測度） 3. 確率の計算と確率モデル 4. 正規分布の性質 5. 大数の法則と中心極限定理 6. 統計的推定 7. 統計的仮説検定 8. 多変量解析（主として行列による回帰分析） <p>を例題と演習で理解してもらうようにする。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席し、演習に参加した平常点と、期末の試験による総合評価で成績を出す。</p>	<p>[参考文献]</p>			
<p>[教科書]</p> <p>門脇光也ほか『はじめて学ぶ統計教室』（現代数学社、2004年）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	0 1	通 期	4 単位	大 西 雅 裕
<p>[講義概要・学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。 2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。 	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術をその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。 2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席と課題レポートにより評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>適宜授業にて紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>対人援助実践研究会（編） 『77のワークで学ぶ「対人援助ワークブック」』（久美株式会社）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	0 2	通 期	4 単位	川 東 光 子
<p>[講義概要・学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。 2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。 	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術をその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。 2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業、課題に対する参加状況（出席率・とりくむ姿勢）レポート等により、総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業時に適宜紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>授業時に提示する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	0 3	通 期	4 単位	竹 中 麻由美
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。</p> <p>2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。</p> <p>3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術とその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <p>1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。</p> <p>2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業への参加状況（出席率、課題などへの取り組みの姿勢、課題の達成状況など）およびレポートなど提出物（期限厳守、内容など）、小テストなどにより、総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業中に、適宜紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>『対人援助ワークブック』（久美株式会社）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	0 4	通 期	4 単位	鶴 宏 史
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。</p> <p>2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。</p> <p>3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術とその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <p>1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。</p> <p>2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席、授業での態度、レポートにより総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>● 北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子（編）『ソーシャルワーク演習（上）』有斐閣、2002年</p> <p>● 北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子（編）『ソーシャルワーク実践の基礎理論』有斐閣、2002年</p>			
<p>[教科書]</p> <p>特に使用しない。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	05	通 期	4 単位	藤 田 謙
<p>[講義概要・学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。 2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。 	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術とその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。 2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席状況＝50％ 課題レポート（適時）・小テスト（7回）＝50％ 上記の比重にて評価を行う</p>	<p>[参考文献]</p> <p>適時紹介する</p>			
<p>[教科書]</p> <p>大西雅裕・山本克彦編著 『シリーズ～“気づく”から“学ぶ”へ～対人援助ワークブック』 （久美出版）</p> <p>平山尚・武田丈『人間行動と社会環境』（ミネルヴァ書房） その他、内容に応じた資料も配付予定である。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	06	通 期	4 単位	安 原 佳 子
<p>[講義概要・学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。 2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。 	<p>[講義計画]</p> <p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術とその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。 2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業、課題に対する参加状況（出席率、とりくみの姿勢）、レポート等により、総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業時に適宜紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>授業時に提示する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術演習 2	07	通 期	4単位	金澤ますみ
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）等を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。 2 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 3 演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解させる。 	<p>具体的な援助事例を体系的にとりあげるなどして、社会福祉援助技術をその援助過程を含め具体的に理解させるため担当教員による個別指導並びに集団指導のもとで、学生自身が積極的に参加できるようにすすめる。</p> <p>さらに、基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助技術が学生個々人に身につくよう、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習前においては、具体的な課題別の事例を活用し、相談援助業務に必要な専門援助技術、面接実技、記録実技、評価・効果測定実技等についての指導を行い、講義の内容を深めたり実習の教育効果があるようにする。 2 実習後においては、実習総括をふまえて、社会福祉援助技術をより深めて身につけさせるようにする。 			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
授業への参加状況、（出席率・とりくみの姿勢等）、レポート等の提出物により総合的に評価する。	授業時に適宜紹介する。			
[教科書]				
『社会福祉小六法』（ミネルヴァ書房）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術現場実習Ⅲ	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10	通 期 通 期 通 期 通 期 通 期 通 期 通 期 通 期 通 期 通 期	2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位	上野谷 加代子 金澤 ますみ 大野 洋 西浦 太一 佐竹 紀美子 田中 信行 坪山 孝 藤田 満 松本 眞一 安原 佳子
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の現場体験を通して社会福祉専門職（社会福祉士）として仕事をするうえで必要な「心構え」、「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。 2 「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、介護を必要とする老人や障害者等に対する“相談援助業務”に必要な資質・能力技術を習得する。 3 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚にもとづいた態度・行動ができるようにする。 4 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系だてていくことができる能力を涵養する。 5 関連分野の専門職との連携のあり方や共同して業務を進行していくうえでの具体的内容・方法を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 配属実習オリエンテーション 2 専門援助技術実技指導 3 面接実技指導 4 記録実技指導 5 評価・効果測定実技指導 6 配属実習 7 実習記録に基づく実習の総括レポートの作成 8 レポートに基づく個別指導 9 全体総括会 			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
全出席（学内・学外）が条件であり、実習ノート、実習レポート、実習研究報告・総括会、実習先評価を総合的に判断し、評価する。				
[教科書]				
授業時指定する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会福祉援助技術現場実習 IV		通 期	2 単位	小 西 加保留
<p>[講義概要・学習目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療の領域におけるソーシャルワークの現状を把握する。 2. 各医療機関の機能や業務の特徴を理解する。 3. 必要な社会資源について、その枠組みを理解する。 4. ソーシャルワークの価値や倫理について具体的に考察する。 5. ソーシャルワークの意義や役割について実習体験を基に理解する。 6. 対象領域別に必要な知識を整理し、把握する。 7. チーム医療のあり方について学習する。 	<p>[講義計画]</p> <p>[実習前課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習目標の明確化。 2. 言葉遣いなどのマナーを習得する。 3. 医療機関の機能や特徴を理解する。 4. 基本的な医療保険・所得保障制度を理解する。 <p>[実習後課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習体験の報告に基づき、クラス討論を実施する。 2. 実習記録の書き方を学ぶ。 3. 実習記録を基に、必要な情報やアセスメント等ソーシャルワークの視点を確認する。 4. 学習目標に沿って、各自の学習を深め整理する。 5. 実習報告会に向けての準備を行なう。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>実習機関での評価、授業への参加度、理解度等を総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川義子（編）『医療ソーシャルワーカーの仕事』（川島書店）2000 ・杉本照子監修『医療におけるソーシャルワークの展開 -- その原則と実践 --』（相川書房）2001 			
<p>[教科書]</p> <p>適宜資料を配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済原論	01	通 期	4 単位	服 部 容 教
[講義概要・学習目標] マクロ経済学の基礎理論を講義する。 教科書として定評のなる以下のものを使用する事にしている。 ただし、原文で読みたい学生のために原典を挙げておくことにする。 マクロ経済については新聞、ラジオ、テレビ等で毎日報道されている経済変数について既に理解している学生も多いと思うが、それが必ずしも経済学的な概念に一致するとは限らないので、厳密な意味での用語の定義から講義を始めたい。	[講義計画] 教科書に従って以下の順で講義する。 1 世界経済の概要 2 財市場 3 金融市場 4 財市場および金融市場と IS-LM モデル 5 期待 6 期待、消費、投資 7 金融市場と期待 8 期待、政策および産出量			
[成績評価の方法] 定期試験の成績で評価する。また、レポートの提出を求める場合には、これの評価と定期試験の成績とを総合的に評価する。	[参考文献] 参考文献は授業中に適宜指示する。			
[教科書] 梶田他訳 オリヴィエ・ブランシャール「マクロ経済学」(上) 東洋経済新報社 1999年 (Olivier Blanchard, Macroeconomics, Third edition, Prentice Hall, 2003, ISBN0-13-110301-6)				

経
営
~01

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済原論	02	通 期	4 単位	森 誠
[講義概要・学習目標] 近代経済学のマクロ経済学を講義します。 まず、新聞等でよく目にする国民所得統計を紹介します。この国民所得統計自体は恒等式といった会計的性質を持っていますが、経済学としては何が原因で失業が生じているのか、という因果関係を表す決定式を考えることが重要です。そこで、雇用量、GDPの決定についてのマクロ経済学を学習します。中心となるのは、ケインズ流のマクロ経済学の標準的解釈ですが、適宜、新古典派流のマクロ経済学等も紹介したいと思います。 近代経済学では多少の数学が使われていますが、それらについても講義で簡単に解説しますので、前もって数学を知らなくとも理解はできると思います。そして、慣れるために、また、曖昧さを排除するためにほぼ毎回練習問題を解きます。まじめに勉強すれば最初はチンプンカンプンでも1年後にはずいぶん慣れているはずです。	[講義計画] 1、GDPと3面等価の原則 2、実質と名目 3、ISバランス—貿易黒字と貯蓄— 4、GDP決定論の基礎 5、均衡予算定理 6、IS曲線 7、LM曲線 8、財政政策と金融政策の効果 9、リカード命題 10、長期の最適化と財政政策の有効性			
[成績評価の方法] 年度末試験	[参考文献] ・工藤・井上・金谷『マクロ経済学』東洋経済 ・惣宇利紀男、服部容教編『21世紀の経済政策』日本評論社 ・吉川洋『マクロ経済学』岩波 ケインズ派の立場によるマクロ経済学 ・瀬岡吉彦『資本主義経済の理論』ミネルヴァ 新古典派、ケインズ派の問題点の指摘とそれに対する著者の考えが展開されています。通説に疑問を感じたとき見てみるとよいでしょう。ただし難しい本です。 その他、公務員試験等を目指している人は、講義を聴くだけでは十分ではありません。簡単な問題集を入手して各自で解く必要があります。			
[教科書] 特になし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
商学総論	01	通 期	4単位	中田 善啓
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>企業が行っている取引を商学の観点から説明する。特に取引制度の進化のメカニズムを明らかにし、ダイナミズムに力点を置きたい。取引活動の目的は市場を形成することによって、企業内、企業間、消費者間の取引の開始から終結までの活動をコントロールして、需要と供給のマッチングを達成することである。具体的にはチャネル、製品、価格、販売促進を中心に企業戦略と関連させて説明する。同時に、これらの戦略はダイナミックに変化していくので、その進化のプロセスが重要である。</p>	<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商学とマーケティング 2. 市場の架橋とマーケティング 3. マーケティングと取引 4. マーケティング・チャネルとその進化 5. 技術選択とその進化 7. ネットワーク化 6. 流行のメカニズム 7. 取引慣行とグローバル化 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末テストを中心に成績を評価する。期末テストは客観テストと論述式のテストからなるであろう。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>中田善啓著『マーケティングの変革』同文館</p>			
<p>[教科書]</p> <p>中田善啓著『マーケティングの進化』同文館</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
商学総論	02	通 期	4単位	中田 善啓
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>企業が行っている取引を商学の観点から説明する。これまでは商学は流通が中心であったが、市場形成活動を中心に視点を拡大して、部品供給企業、製造企業、流通企業、消費者の取引をみていく。</p> <p>取引の観点からみると、企業は市場の懸隔を架橋している。これは市場を形成していることを意味する。市場形成活動は企業と顧客の取引を媒介する。そのために企業は上流市場と下流市場で取引ネットワークを構築する。企業は取引を効率的に行うために、他企業と統合だけでなくアウトソーシング、提携通じてネットワーク化を図っている。さらに、市場形成戦略を見ていく。</p>	<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商学とマーケティング 2. 情報化なぜ市場創出か 3. 市場の架橋とマーケティング 4. 市場創出活動と裁定取引 5. 仲介活動 6. ネットワーク化 7. 参入戦略 8. 攻撃的戦略と防御的戦略 9. ブランド 10. 創発 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末テストを中心に成績を評価する。期末テストは客観テストと論述式のテストからなるであろう。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>中田善啓著『マーケティングの進化』同文館</p>			
<p>[教科書]</p> <p>中田善啓著『マーケティングの変革』同文館</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
日本経営論研究 (旧経営・商学特講(日本経営論研究))		通 期	4 単位	鬼塚 光政
[講義概要・学習目標] 1980年代まで高パフォーマンスで国際的に脚光を浴びた「日本の経営」諸慣行・制度の多くは、国内では90年代以降のグローバリゼーションの急速な進展と長期構造不況の中でかつての輝きを失ってしまった。そして、それに伴い、日本企業はグローバリゼーションへの戦略的対応を迫られ、経営の本格的展開を図っており、この傾向は奔流のような勢いで強まっている。 本科目では、このような状況を踏まえて、「グローバリゼーション下の日本企業の経営戦略」という統一テーマで、日本企業は、グローバリゼーションを視座に据えて、経営管理の主要な諸側面、どのような戦略を採用し、どのような課題の解決を迫られ、どのような成果を上げているか等について研究する。授業は、原則として、本研究科教員による講義と経営の多国籍展開を積極的に行っている先進諸企業で活躍中の実務家・その経験者による事例研究を、テーマ毎にセットにして行うことによって、理論と実践の両面から迫ることになっている。	[講義計画] ＜前期＞オリエンテーション 経営基本戦略 異文化経営戦略 財務戦略 研究開発戦略と原価企画 ＜後期＞資材調達戦略 人事戦略 生産戦略 マーケティング戦略 情報戦略 競合国企業の経営戦略 (以上の計画はやむを得ぬ事情で多少変更される場合がある。)			
[成績評価の方法] レポートの成績に、授業中の発言状況、出席状況等を勘案して評価する。 レポート提出は、前期末と後期末の各1回計2回。	[参考文献] 各講師の判断に委ねる。			
[教科書] 各講師の判断に委ねる。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 チ ー フ
環太平洋圏経営研究 (旧経営・商学特講(環太平洋圏経営研究))		隔 週	4 単位	岸本 裕一
[講義概要・学習目標] 日本を含む環太平洋圏(南北アメリカ、東アジア、オセアニア、ロシア極東地域を含む圏域)は、文明の転換期とも言えるべき歴史的ダイナミズムの中にある。1998年に起こったアジアの金融危機はその1つの端緒であり、また、中国とアセアンの自由貿易協定の締結というニュースも以前の常識からは想像しにくいことである。このような中において、環太平洋地域の経営をめぐる諸問題を学ぶことは、経営学研究に携わるものにとっては必須の要件であり、また、本学の建学の精神である「世界の市民」という視点からも避けては通るののできない学びとなっている。 トピックとしては、経営、経済問題を主としつつも、政治、文化、環境問題などといった関連領域にも触れながら、グローバルかつローカルな問題認識の目とセンスを身に着けたいものである。	[講義計画] ＜春学期＞ 第1回は「環太平洋圏経営研究の実践的課題と方法論」として岸本が講義した後、第2回以降は、韓国、中国、アメリカ、中南米、ロシア極東地域の経済動向と経営の展開について、専門家によるリレー講義となる。 ＜秋学期＞ 最新のトピックを盛り込んだ講義、たとえば、小売業のあり方、環境問題への取組などにつき専門家のリレー講義となる。 そして、最終回は「取りまとめの講義」を岸本が行なう。 (注記)春・秋学期とも詳しい日程は、ゲスト講師等との調整が必要なため、オリエンテーションに時点で公表される。			
[成績評価の方法] 1. 講義への出席と関与の程度 2. レポートの評価	[参考文献] 特に指定しない。			
[教科書] 特に指定しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
プログラミング論C	01 02	通 期 通 期	4 単位 4 単位	竹 内 昭 浩
[講義概要・学習目標] ワークステーションの標準的OS (オペレーティング・システム) であるUNIX (Linux) の入門と、Fortran およびC言語とを用いて、プログラミングの基礎を学習する。	[講義計画] (前期) (後期) 1. UNIX (Linux) 入門 7. ファイルの操作 2. viエディタ入門 8. 副プログラム 3. Fortranでの 9. C言語での 簡単なプログラム 簡単なプログラム 4. if文 10. 変数と算術 5. do文 11. for文とwhile文 6. 配列 12. 関数			
[成績評価の方法] 試験の結果と、提出してもらったレポートを加味して評価する。	[参考文献] 坂本 文 (著) 「たのしいUNIX」 (アスキー出版) 浦 昭三 (著) 「FORTRAN77入門」 (培風館) カーボン・リッチ (著) 「プログラミング言語C 第2版」 (共立出版)			
[教科書] 特に指定しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
プログラミング論D	01 02	通 期 通 期	4 単位 4 単位	三 木 大 史
[講義概要・学習目標] Windows上でのアプリケーションプログラムを実際に作成することによって、プログラミングの基本とコンピュータに対する本質的な理解を深める。その結果として広範なコンピュータの活用能力を身に付けることを目標とする。Windows上のプログラミングの特徴として、ユーザーとコンピュータとのやりとりのために画面に様々な部品のレイアウトを決め、マウスを動かしてクリックしたりドラッグしたり、キーボードから入力があったりするたびに処理が行われるという特徴をもつプログラミングすなわちイベント駆動型のビジュアルプログラミングに焦点を当てる。プログラミングの統合開発環境としてDelphiを使用する。これはWindowsプログラミングに対する数々の優れた特徴を持ち、また、教育用に開発されたPascalというプログラミング言語が採用され、プログラミングの基本を学ぶのに最適である。受講にあたっては、Windows上のワードプロセッサや表計算ソフト使用経験があれば十分である。	[講義計画] (1) Delphiの統合開発環境の概要および文字を表示するアプリケーションソフトウェアの作成 (2) チェックボックスとラジオボタンの利用と処理の分岐 (3) 流れ図によるイベント処理の流れの把握とエラーへの対処 (4) 文字と整数値の演算をするアプリケーションソフトウェアの作成および変数の型 (5) ダイアログボックスとメッセージボックス (6) リストボックスとコンボボックスの利用と繰り返し処理 (7) 簡単な集計表の作成とデータ配列 (8) オープンダイアログとセーブダイアログの利用とファイルの読み書き (9) メニュー、ツールバーのボタンの作成 (10) テキストファイルの読み込み、作成、編集、保存できる簡易エディターの作成 (11) エディターのファイルメニュー処理の流れ図による分析			
[成績評価の方法] 試験は行わず、出席、課題への取り組みの積極性およびレポートにより評価する。	[参考文献] 村上宣寛 (著) 『やさしいDelphi』 日刊工業新聞社 矢沢 久雄 (著) 『プログラムはなぜ動くのか』 日経BP出版センター 服部 誠 (著) 『Borland Delphi6オフィシャルコースウェア (基礎編)』 アスキー			
[教科書] 使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
オペレーションズ・リサーチ		秋学期集中	4 単位	太 田 雅 晴
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>辞典によれば、オペレーションズ・リサーチとは、『システム運用上の問題に、数学的・科学的方法を適用し、最適の選択を発見する技法。経営、軍事での意思決定や、作戦計画などに利用』とあり、ORと略して呼称される。軍というぶっそうな言葉がこの説明の中にはあるが、要はいろいろな仕事をする上で、費用においてもスピードにおいても最適なやり方を、科学的に明らかにしようとするのがこの科目を勉強する意味である。近年では、発見された最適な方法をコンピュータプログラムにして利用することで我々の生活を豊かにしてくれている。例えば、車に搭載されたナビゲーションシステムで最短のルートをドライバーに示してくれたり、最も利益が上がるようにコンピュータが自動的に株の売買をしてくれたり、コンビニエンスストアでお客さんが満足がいくようにまた店舗の運営費用が安くなるように商品の発注を自動的に行ってくれたりするのはその例である。本講では、事例を用いながらORの基礎的理論を勉強する。特に、情報処理関連試験を受けようとする人達にとっては重要な科目であるとともに、将来、プランニングに関わろうとする人達にとっても学習することで得た知見は役に立つであろう事を保証する。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>左記学習内容の講義を行うが、具体的には下記の課題について事例を踏まえながら講義を進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最適なイベントプロジェクトを計画する。 <ul style="list-style-type: none"> ・遅れてはならない作業を見つける ・コストと時間の関係から最適なプロジェクトを計画する 2. 最適な経営戦略を策定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・市場が限られている場合の最適戦略は何か ・決着がつかない場合の最適戦略はどのようにして求めるのか 3. 経営指標として在庫を最適に管理する <ul style="list-style-type: none"> ・様々な最適な在庫管理の方法とは ・商品によって最適な在庫管理は違うのか 4. 最適な組織を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・組織の基本であるコミュニケーションをわかりやすく表現できるか ・みんなどんなコミュニケーションをしているのか 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>講義中に行う課題と期末試験で総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>必要に応じて講義中に指示する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>無し</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリスの詩 (やさしい英詩)		秋学期	2単位	岡田 章子
〔講義概要・学習目標〕 本講義ではまずやさしい詩を何度も読んで聞いて、学生が英詩を自分の楽しみにできるようにしたい。詩は散文と比べて短いがそれゆえに内容は凝縮され、言葉遣いが豊かで一段と美しいものである。内容と共に音の響きも鑑賞してほしい。 テキストは自然を愛でた詩、花の詩、動物の詩、死を悼んだ詩とテーマ毎になっているので題材やテーマによって自分の好みを見つけるのが容易である。やさしい作品に慣れた後、もう少し内容の深い作品に進むが、これはプリントを用意する。作品を読みながら、各詩人の生きた社会を理解し、人々の素直な感情を読み取るようにつとめる。授業にはきちと出席し習った詩は暗記するくらい反復して音読することを期待する。	〔講義計画〕 1. 英詩の流れ 2. 詩人紹介 3. 英詩鑑賞 4. まとめ			
〔成績評価の方法〕 定期試験 平常点	〔参考文献〕 Babette Deutsch: Poetry Handbook: A Dictionary of Terms (New York: Barnes & Noble Books, 1974)			
〔教科書〕 Peter Milward: A Shorter Course in Easy English Poems (南雲堂) プリント				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリスの演劇 (シェイクスピア入門)		春学期	2単位	宮之原 匡子
〔講義概要・学習目標〕 イギリスの、特に、エリザベス朝の劇作家の中でも、シェイクスピアの作品には時代を超え、人を引き付ける魅力、共感・感動を与える力があり、全世界で、彼の作品が上演されている。 この講義では、シェイクスピアの作品を読み、各作品の内容を知った上で、映画を鑑賞する。元々上演されるものとして執筆された演劇の特性としての、読んだだけではわからない面白さを映像を通して見つけ、少しでもシェイクスピアに親しんでもらいたい。	〔講義計画〕 1. イギリス演劇について (概論) 2. 『十二夜』・『ロミオとジュリエット』等を読む。 2. 有名な台詞を原文で読み、その上で、映画を鑑賞する。			
〔成績評価の方法〕 小レポート提出 (各作品の予習) 平常点 レポート提出 (学期末)	〔参考文献〕 授業で紹介する。			
〔教科書〕 シェイクスピア全集 (ちくま文庫) 松岡 和子 訳 筑摩書房 ① 『十二夜』 ② 『ロミオとジュリエット』 他、プリントを準備する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アメリカの小説 (アメリカの夢のゆくえ)		春学期	2単位	伊藤 貞基
[講義概要・学習目標] ジャズ・エイジのスポーツマンと言われた F. Scott Fitzgerald (1896-1940) の代表作 <i>The Great Gatsby</i> (1925) を読む。この小説は、中西部出身の語り手 Nick Carraway が語る北ダコタの農家出身の Jay Gatsby の物語である。無一文で第一次大戦から帰国した Gatsby は、すでに結婚してしまっている富と美貌に恵まれたかつての恋人 Daisy を諦めきれず、手段を選ばずに巨万の富を築き、彼女を取り戻そうと彼女に近づくと。彼は彼女を得るために「黄金の帽子をかぶり、空高く跳ね飛ぶ」のだが、結局は、飛びすぎた(？)ために、あえなく落下して、砕け散ってしまう。語り手 Nick はこのような Gatsby の姿の中に、誠実な魂の飛躍と痛恨を見て取り、Gatsby の抱いた Daisy への夢をアメリカン・ドリームに重ね合わせる。 <i>The Great Gatsby</i> を読むことを通して「生きる」とはどういうことか、アメリカとは何か、を考えてみたい。	[講義計画] この小説は9章、約190頁から成る。授業ではさわりの部分を精読していく。この部分は、期末の英語読解力試験の対象となる。どの章やパッセージを読むのかは最初の授業時に指示する。小説全体は6回目の授業までに各自で読み終える(訳本の助けを借りてもかまわない)。ストーリーや人物像その他についての質問課題は6回目の授業時に配布し、次週に回収する。次いで、作品の構造やテーマなどについてのレポート課題を配布し、これは10回目の授業時に回収する。最終段階の授業は回収されたレポートを素材にして、この作品についてのディスカッションを行う。			
[成績評価の方法] 教室での発表と出欠状況、期末の筆記試験、学期途中で提出するレポート課題などを総合して評価する。	[参考文献] 1) 『フィッツジェラルド』 20世紀英米文学案内 7 研究社 2) アンドルー・ターンブル著/永岡・坪井訳『完訳フィッツジェラルド伝』 3) 新潮文庫、集英社文庫、角川文庫等によるこの作品の翻訳および解説			
[教科書] F. Scott Fitzgerald, <i>The Great Gatsby</i> (Scribner Paperback Fiction)				

英
米
~01

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米の映画 (チャップリンから現代映画へ)		秋学期	2単位	大野 裕之
[講義概要・学習目標] 19世紀末に登場して以来、いまだ大衆娯楽の王様の地位を保持しつづけている映画。本講義では、さまざまなタイプの作品を全体的に、その歴史的・社会的背景を評述し、画面にひそみめくされたメタ・メッセージと ⁽³⁾ チャップリン映画の違いや、これにはどんな意味があるか? ステルバーク映画の中にみえさせた意味とは? 映画を見る視点が180度変わります。 同時に、『新装チャップリン』という映画と対比を通して、パフォーマンス全般の社会史についても講義する。	[講義計画] 1. イントロダクション 2-5 古典映画 の 意味作り 6-7 ミュージカル映画の現在 8-9 演劇と映画 10-12 現代ハリウッド映画論 13-15 まとめ 予備時間			
[成績評価の方法] レポートと平常点で総合的に評価する。 実際は上映会や演劇公演などには足を運んでもらう場合もある。	[参考文献] 『アメリカ映画の文化史』 ロバート・スクラー 著 (平凡社)			
[教科書] 「チャップリンのために」(とまも便利出版部) 三宅川屋治 他著				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅰ (文学と同性愛)		春学期	2単位	大野裕之
【講義概要・学習目標】 <small>正しい間、</small> 同性愛は社会的に抑圧されてきたが、 ^(他方) 歴史的に見て、 異性愛者の ^(他方) 多くが、 ^(他方) 異性愛者 が が 芸術活動と担、 <small>こも事実に基づく。</small> 来た。本講義では、多様なセクシュアリティのあり方を実践的に 学ぶ 肯定するにあたり、オスカー・ワイルドや ノエル・カワードの戯作品を とりあげ、同性愛者の文学と美の問題を詳しく研究する。 あわせて、少年愛をうたったシェイクスピアのソネットをも鑑賞する。 後半には、 ^(中世・近) 文学を同性愛者の視点から 映画化した パソリニについて触れ、同性愛文学、映画の 現代的展開を 明らかにする。	【講義計画】 1. イントロダクション 2~4. 風習者劇における ダンテイズム と美 について ~ワイルドモヤベ 5~6. 同性愛者の告白文学 ~ "Songs at Twilight" (カワード) を読む 7. シェイクスピアのソネットと 少年愛 8~12 同性愛・文学・映画の 現代的展開 ~ パソリニの読み 13~15 まとめ、予備時間			
【成績評価の方法】 平常点・レポートなどを総合的に評価する。	【参考文献】 『英国喜劇論集』丸橋良太郎著(有朋堂)			
【教科書】 『パソリニ・ルネサンス』(と、まも便利出版部) 大島清、三浦彰彰 他著				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅱ (孤独)		秋学期	2単位	岡田章子
【講義概要・学習目標】 人間はいつの時代でも孤独であるが、とりわけあわただしい現代、人間同士の気持 ちを通じ合うことがむつかしく孤独な時代である。現在活躍中の女流作家 Anita Brookner はいくつもの小説でこの問題を取り扱っている。孤独に男女の差はないだ ろうが Brookner は主に女性の孤独を描いている。本講義で論じる『英国の友人』 では結婚に飛び込めない女と結婚によって自分の家庭をもった女とを対比的に描い て、前者の孤独感に焦点を合わせている。本屋を経営する 32 歳の独身女性はアパー トにひとり住み、親兄弟もなく、親しい友達も恋人もいない。誰にも頼ることなく、 そのかわり拘束されることもない生活である。彼女の生活を通して誰もが直面する現 代の孤独の問題を考えたい。 翻訳を使って授業を進めるが必要に応じて原文をプリントする。	【講義計画】 1. 現代の孤独 2. Anita Brookner 紹介 3. 『英国の友人』鑑賞 4. まとめ			
【成績評価の方法】 定期試験・平常点	【参考文献】 Lynn Veach Sadler: Anita Brookner (Boston: Twayne Publishers, 1990)			
【教科書】 アニータ・ブルックナー『英国の友人』 小野寺 健 訳 (晶文社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究 (西南アジア文化)		秋学期集中	4単位	今 澤 浩 二
[講義概要・学習目標] 小アジア半島を中心とするトルコは、鉄の民族ヒッタイトをはじめ、古代ギリシア文明、ローマ帝国、ビザンツ帝国、オスマン帝国などさまざまな民族・文明が興亡し、まさに「文明の十字路」と呼ぶにふさわしい地域である。 本講義では、世界史に重要な舞台を提供したにもかかわらず、日本ではなじみの薄いトルコの歴史を、特に、今世紀初頭まで 600 年にわたって君臨し続けたオスマン帝国を中心に概観し、世界史上におけるトルコの重要性について考える。	[講義計画] 1. 「鉄の民族」ヒッタイト 2. トロイ文明 3. 古代ギリシア文明とペルシア帝国 4. アレクサンドロス大王とヘレニズム 5. ローマ帝国とキリスト教 6. ビザンツ帝国（東ローマ帝国） 7. イスラーム世界とトルコ民族 8. オスマン帝国の成立と発展 9. オスマン帝国の宮廷とハーレム 10. オスマン帝国の滅亡とトルコ共和国の誕生			
[成績評価の方法] 授業中の小テスト、学期末試験。	[参考文献] 林佳世子『オスマン帝国の時代』（世界史リブレット19、山川出版）			
[教科書] なし。	鈴木董『オスマン帝国—イスラーム世界の「柔らかい専制」—』（講談社現代新書）			

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（フランス文化）		春学期集中	4 単位	ロー・ヤマサキ・アニー
[講義概要・学習目標] きょう現在のフランス人のライフスタイルや思考傾向などについて、色々なアスペクトを通じて説明いたします。	[講義計画] ● 個人としてのフランス人 フランス人は自分の外観をどのように意識しているか フランスの礼儀作法 ● フランスの家の方 男女のあり方 若者たち 日常生活 ● フランスの社会 社会生活 価値観 ● 仕事とレジャー 東京の人口 好きな時間とフアランス ● その他			
[成績評価の方法] 平常点と期末試験で評価します。	[参考文献] 草場守子 『現代フランス情報辞典』 大修館書店			
[教科書] なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人文地理学		通 期	4 単位	藤 森 勉
【講義概要・学習目標】 春学期には地理学史を、秋学期には経済地理学を講義する。 現在の人文地理学は、地理学観や目的・方法などが長い歴史を通じて進歩してきたので、これを理解するには地理学の発展の歴史を概観するのが最も有効なからである。 また人文地理学は研究対象によってさまざまな分野で構成されており、それぞれに研究方法も確立されている。とくに現在大きな分野の一つとして知られるのが「経済地理学」であり、日本の場合は経済地域をとり上げ、外国の事例も紹介しながら、その特徴を講義する。	【講義計画】 地理学史：(1) 古代中国を中心とする地理学観 (2) キリシヤ・ローマ時代の地理学の発展 (3) 大航海時代の地理学視野の拡大 (4) 近代地理学の形成 (ドイツ・フランス) (5) 現代地理学の課題 経済地理学：伝統産業分野 (1) 漆器・陶器 (2) 絹織物・絹織物 中小企業分野 (1) 毛織物・金属洋食器 大企業分野 (1) 造船 (2) 石油化学			
【成績評価の方法】 期末試験の成績 90% 出席率 10%	【参考文献】 授業時に適宜紹介する。			
【教科書】 使用しない。授業時にプリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語教授法Ⅲ		通 期	4 単位	友 沢 昭 江
【講義概要・学習目標】 本講では日本語学および日本語教授法関連の授業を受講した後、その知識や経験を総合して、実際の教育の場面で学習者とのようなインターアクションを行うかという、実践力の養成を目的とします。知識として獲得したことをいかに効果的に提示し、学習者のもつ多様なニーズや問題をどのように処理するかを、実際の授業形態の中で学びます。そのため、原則として日本語教授法Ⅰおよび日本語教授法Ⅱを終了した人にも受講を認めます。	【講義計画】 ・様々な教授法をビデオによるモデル授業を見ることを通して比較検討します。 ・グループに分かれて、基本的な教授内容をいかに実際の教育現場で教えるかを研究し、発表します。 ・グループ単位で、実際の授業を組み立て、模擬授業として発表します (二回)。 ・実際の日本語授業を見学したり、夏期・春期休暇中に学外(国内・海外)での教育実習 (希望者のみ)を行います。			
【成績評価の方法】 ・学期初めにノートを作り毎回の授業の内容をまとめるほか、適宜出される課題もそこに書き込み、一カ月に一回程度の割合でノートを提出します。ノートの内容、出席状況、授業での意見発表などを総合的に判断します。 ・グループ単位で行う作業は、学生間の相互評価を行います。(各自が評価表に書き込み、それをクラスで閲覧してフィードバックとします。)	【参考文献】 『教え方の基本』(丸山敬介、京都日本語学校) 『日本語教育論集』(吉田彌壽夫監修、学研) 『概説日本語教育』(遠藤織枝編、三修社) 『実践日本語教授法』(名柄迪監修、中西家栄子他、バベルブックス) 『外国語教育理論の史的発展と日本語教育』(名柄迪他、アルク) 『子供のための日本語教育』(山本紀美子他、アルク) 『日本語教師をめざす人の日本語教授法入門』(石橋玲子、凡人社) 『日本語の地平線』(吉田彌壽夫古稀記念論集編集委員会、くろしお出版) 『日本語教育のための心理学』(海保博之他、新曜社)			
【教科書】 特に指定しない。必要に応じて担当教員が用意し、配付します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日事情研究 I		通 期	4 単位	吉 岡 美 穂
[講義概要・学習目標] 日本人のコミュニケーション・スタイルにはどんな特徴があるのか？ 日本人の謝り方、ほめ方、批判の仕方、自己開示の仕方、あいづちの仕方、 時間・空間の使い方などは外国人にはどう理解されているのか？ この授業では、異文化間の相互作用によって起こる問題についてディスカッ ションを行い、他者の意見を尊重し、異なった視点から物事を見る能力を養う。	[講義計画] 1) コミュニケーションとは何か？ 2) 言語コミュニケーション 3) 非言語コミュニケーション 4) 価値志向 5) 「文化」とは何か？ 6) カルチャーショック 7) 異文化適応			
[成績評価の方法] ・授業参加と出席・宿題・テスト・レポートを総合的に評価する。	[参考文献] ・「日本人の表現構造」D.C.バーンランド著（サイマル出版） ・「異文化コミュニケーション・ハンドブック」（有斐閣選書）			
[教科書] ・テキストは使用せず、必要な時は資料を配布する。				

